



「高等教育における合理的配慮をめぐる課題」

日時 2018年2月10日(土)

13時30分 – 16時40分 (開場13時)

会場 東京大学本郷キャンパス
経済学研究科棟地下1階第一教室

今回の公開講座では、高等教育における合理的配慮を取り上げます。2016年4月1日に障害者差別解消法が施行されてから、すでに1年半以上が経ちました。大学をはじめ高等教育の場において、合理的配慮という概念が大きな注目を集めている一方で、この概念の理解が難しいという声も上げられています。今後、高等教育において合理的配慮を適切に提供するためにも、合理的配慮をめぐる紛争を防止するためにも、合理的配慮をめぐる課題を多角的に明らかにする必要があります。

その一環として、今回の公開講座は、以下の3本の報告とその後の全体討論を通じて、高等教育における合理的配慮をめぐる課題を多角的に検討します。まず、高橋知音教授は、心理学の観点から、機能障害についての評価に着目しつつ、合理的配慮の妥当性を検討します。次に、REASEの星加良司准教授は、社会学の観点から、高等教育における合理的配慮をめぐる課題を検討します。また、REASEの川島聰准教授と松井彰彦教授は、法学と経済学の学際的アプローチの観点から、高等教育における合理的配慮をめぐる課題を分析します。

発表者:高橋知音教授(信州大学), 星加良司(東京大学), 川島聰(岡山理科大学), 松井彰彦(東京大学)
司会者:長瀬修(立命館大学)

プログラム

13:30-13:35 開会の言葉 松井彰彦(東京大学経済学研究科 教授)

13:40-14:10 高橋知音「合理的配慮の妥当性と機能障害の評価」(仮)

14:25-14:55 星加良司「合理的配慮法制化後の変容と課題」(仮)

15:00-15:30 川島聰／松井彰彦「障害学生と合理的配慮」

16:00-16:40 全体討論

情報保障:手話通訳、文字通訳、磁気ループ、視覚障害者用読み上げ用テキストデータ

車イスをご利用の方、介助者同伴の方、盲導犬同伴の方、点字レジュメ、拡大文字レジュメ、磁気ループ、

読み上げ用テキストデータをご利用の方は、お申し込みの際に登録フォームにてお知らせください。

点字資料をご希望の場合は2月1日(木)までにお申し込みください。

参加お申し込みは

<http://www.rease.e.u-tokyo.ac.jp/> より
REASE公開講座ページへ



Research on Economy And Social Exclusion
社会的障害の経済理論・実証研究
社会的障害の研究から
経済理論や社会の歪みをみつめ、経済学を考える